

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	霧島市	代表者名	市長 中重 真一
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0995-64-0933
担当者役職	主任主事	担当者氏名	新村 武史
住所	899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中山 健太
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	RPA・AI-OCRの適用事例について、宇城市だけでなく、他の自治体での適用事例まで幅広く紹介いただいた。成功例だけでなく失敗例も聞け、使っているシステムや作業内容によって適用に向いている業務と向いていない業務があることを知ることができた。また、受講後にアンケートをとったところ、受講した職員の理解度が高く、各担当課で適用が見込める業務を聞き出すことができた。
アドバイザーへの要望事項	霧島市では今後、全庁的にRPA・AI-OCRを業務適用していくので、何か課題が見つかった際には、ご助言等いただけますと幸いです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月8日	13時30分	16時00分	10	140
3-2. 派遣場所	会場名	霧島市役所	最寄駅	国分駅	
	所在地	鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	55 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	令和3年度にRPA・AI-OCRを導入し、適用業務を絞ってロボット等の開発を行っている。令和4年度には全部署を対象に適用を拡大していく予定のため、全部署の職員が、RPA・AI-OCRについて理解し、自身の業務に適用できないか考えてもらうことが必要である。また、具体的にどの業務に適用できるのか意見を出してもらい、令和4年度の適用業務選定につなたい。	
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	各課の職員が、RPA・AI-OCRの基礎知識を習得し、自身の業務に適用できるものがないか意見を出す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的に記入下さい）	RPA・AI-OCRの基礎知識についての説明。宇城市の業務にRPA・AI-OCRを適用した際の成功例や失敗例、どのような業務に適しているかの紹介。他の自治体におけるRPA・AI-OCRの適用業務の紹介。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的に記入下さい）	講演会後のアンケートで、98%の職員が理解できたと回答。また、具体的に何の業務に適用できそうか意見を出してもらうことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的に記入ください）	特になし。	

アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケートでは、講演会の理解度や、RPA・AI-OCRを適用できそうな業務について回答してもらった。98%の職員が理解できたと回答し、適用できそうな業務が25業務あった。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

